

米国の中距離核戦略全廃条約離脱に抗議します



Life Crossing

【乱れ打ちかわら版】あらため／季刊（創刊2001年）

2019年春・56号

信条・世に媚びず ・枠にとらわれず
・言いたいことはハッキリ言おう

発行／吉田 進
携帯 090-3168-1063
FAX 072-863-0605
〒110-0015
東京都台東区東上野 3-26-10 FC204号

URL : <http://www.kawaraban.ne.jp/>
E-mail : info@kawaraban.ne.jp



ある年の正月、日本3大朝市の一つ能登・輪島の朝市へ行った。日本海から吹きつける風で顔が痛い。200以上の露店では、女たちが顔を赤くしてトトレの魚介や農作物、民芸品などを売る。値札はない。もともと、朝市の始まりは千年前（平安）、神

社祭礼日の物々交換からだとか。だから売買いのやり取り、おまけのサービスがおもしろい。輪島の女たちは働き者で「亭主の1人や2人を養えなくては、女がすたる」というらしい。そんな女性群に元気をもろて、熱くなった。

CONTENTS

世の中・社会・文明・歴史・家族・自分のことを書いています。

中山観音寺 節分や千手仏の手が開く…………… 2
まやかしの言い換え 駆逐艦が「護衛艦」!?
池田香代子… 3
お笑いを押し付ける芸人は退場せよ 馬場 正雄… 4
戦争の歴史を学ぶ大切さ 信州のロザリアン… 5
恭子の日記⑩ 西肥バスの運転手さん 中田 恭子… 6
日本の離婚事情について 大山 桜… 7
安倍首相の外交成果は有りや無しや? 三田 栄考… 8
憲法と改憲を考えるシリーズ第7回
違いを豊かさにする共生社会は、
憲法にうたわれている 長崎由美子… 9

聴こえない声を聴く、新しい挑戦 丸山 牧夫… 10
一生に一度は大相撲なるものを見ておこう
原野 通有… 11
藤沢周平(中) - 史実と想像力の狭間 - …… 12
忠臣蔵 遅れてきた武士道 名君吉良の悲劇
阿部 敏夫… 13
岩名雅記のCmジャーニー⑩ 舞踏と「理解」 …… 14
ふるさと言葉 森川 澄子… 15
LIFE CROSSING余録 …… 15
編集後記… 15
2018年最後に飲んだまじい酒 増山 麗奈… 16

— 2月3日 中山観音寺 —
せんじゆ ひら
節分や千手仏の手が開く



「こっちにもまいてやー」 絶叫が飛びかう中、帽子や袋を広げて豆を集める人も



タカラジェンヌも豆をまく



こわもてだけど愛嬌たっぷりの鬼たち

家内殿「鬼は外」にはすぐ帰る

(鬼と間違われそうなるフラフラ・マン)

節分とは、季節の移り変わる時、すなわち冬から春へ変わる立春の前日。その日には、各所各寺では「鬼は外」の豆まきが行なわれ、数万人の善人男女による福豆とりが行なわれた。

行事の趣向はそれぞれ、宝塚の中山観音ではタカラジェンヌが扮する観音さんが、鬼を諷めて改心させた。一方、寝屋川の成田山不動尊では「不動明王の境内には鬼はいない」と、NHK放映の「まんぷく」ヒロイン役・安藤サクラさんと松坂慶子さんが、「鬼は内」と福豆をまいた。

でも、退治しないとアカンものが廃棄処分になった大量の縁起物の「恵方巻き」。試算では、その金額は十数億円に及ぶとか。そんなことを考えながら世の中をみると、賃上げどころか、物価値上げで命を削り、残業なんかで鬼となって働く中小零細企業の労働者や、僅かな年金を削りとられる年金生活者がたくさんいる。その人たちを「福は内」に迎えるアカン。

厚労省の不正統計で「アベノミクスで景気は拡大」などというウソをつき、当事者を更迭して実態解明を拒否する安倍自民党に「鬼は外」の豆をぶつきたい。

まやかしの言い換え 駆逐艦が「護衛艦」!?

東京都杉並区 池田香代子

(九条の会世話人)

40年くらい前、ザ・デストロイヤーという覆面プロレスラーがいました。力道山やジャイアント馬場の好敵手として、人気を博しました。この名前は「ぶっ壊し屋」という意味ですが、軍事の世界でデストロイヤーといえば、駆逐艦を指します。

日本の海上自衛隊には、デストロイヤーは48隻もありませんが、駆逐艦は1隻もありません。なぜなら、護衛艦と呼ぶことにしているからです。駆逐艦というと攻撃的だけでなく、護衛艦ならなにかを守るイメージで、専守防衛の自衛隊にふさわしいという配慮でしょうか。でも、魚雷やロケットを発射して敵艦を破壊することに変わりはありません。

こうした言い換えは、挙げるときりがありません。たとえば、男女共同参画というお役所言葉、英語はジェンダー・イクオリティです。イクオリティはイコールの名词形ですから、同等、平等という意味です。だったら、新語など作らないですなにおに男女平等とすればいいようなものが嫌いなようです。これとは無関係なことながら、女性の地位が日本は144カ国中14位であることは(世界経済フォーラム、2017年)大問題です。

以下、思いつくままに、英語の一般的な意味とはずれている日本語を、軍事の分野から挙げてみます。

日本も海外に基地を持っていますか、ご存じでしたか? アフリカ北東部に位置するジブチ共和国にあります。海賊対策で各国が海軍を派遣する中、日本の海上自衛隊も参加して基地を持つにいたったのですが、基地ではなく活動拠点といいます。でも、英語ではベース、沖縄の米軍基地をベースというのと同じです。先の例のように、新しく言葉を作ることもあります。問題になっている辺野古の新基地建設ですが、英語ではリプレイスメントで、取り替えという意味です。それが、日本側の文書だと移設です。取り替えだとグレードアップする場合もあるけれど、移設なら従来のものをただ移動させるだけという軽いイメージになる、そうは感じませんか? おそらく1996年に作られたようで、それまではなかったらしいというのはネット検索でもわかりますが、「デジタル大辞泉」の用例に、「手狭になった飛行場を移設する」と、辺野古を意識した文例が採用されていて、この言葉がこの場面にしか使われていないことが見て取れます。

また、後方支援は、英語ではロジスティクスです。日常でも使われるいわゆるロジ、物流です。軍用語では兵站(へいたん)で、後方という意味はなく、もともと狙われるという意味では最前線です。この言い換えからは、自衛隊は海外に出ても後ろの方でサポートするだけと受け取ってもらいたい、という思いが伝わってきます。

このほか、英語にできない日本語もあって、英語では「いわゆる」という意味の「ソー・コールド」を頭につけて、ローマ字書きにしている言葉もあります。「一体化」「駆けつけ警護」などです。「非戦闘地域」は英語になっていきますが、「ソー・コールド」がついています。こうした概念そのものが、世界の軍事にはないのです。日本の国内向けの説明にだけ使われる言葉がこれほどある。こんな国、信頼されるでしょうか。私は心配です。



(上)ジブチ共和国の首都ジブチ国際空港敷地内にある自衛隊初の海外拠点Japan's Self Defense Force base in Djiboutiと称している。ソマリア沖・アデン湾において当時頻発していた海賊被害に対応するため、2011年7月に開所され、現在約400名の自衛官が常駐している。エッ、海外に自衛隊の基地が?おかしいな



(左)DESTROYERは覆面プロレスラーのザ・デストロイヤー。帝国海軍駆逐艦も護衛艦も同じ意味です

池田さんは2月1日「反緊縮財政」の選択を!という薔薇マークキャンペーンの呼びかけ人として記者会見を行い、趣旨に賛同する候補者に薔薇マークの認定をする運動を開始した。金持ちへの課税強化、10%消費税凍結、社会保障に大胆な財政出動などが認定の基準だ。

お笑いを押し付ける芸人は退場せよ

大阪市中央区 馬場 正雄

お笑い芸人を批判したら世人から文句が出るだろうが私は取って苦言を呈したい。多くの世人はお笑い芸人を好んでいる。そりゃそうだろう。彼らは世人に支持されるべく人気を得るための言動を繰り返しているのだから。人気を

失えば

退場になることを彼等自身が熟知しているから、人気を博すために彼らは何でもする。笑わずためには手段を選ばない。そのバロメーターが視聴率なる代物だ。お笑い芸人だけでなく、プロデューサーもテレビ局も視聴率アップのために大衆に迎合する。さもありません、テレビ局の客はスポンサーであり、ス

ポンサーの目的はただ一つ、コマーシャルを多くの人にさせることだ。1%でも視聴率を上げる——それが哀しいかな、テレビ関係者の使命だ。

テレビ局は安直で割安な手段として視聴率稼ぎの為に笑いに走り、お笑い芸人はその意向を受けて低俗な放送に墮ちる。お笑いが安易で人件費も安く、制作費もかからない、企画も無用だからだろう。さんまに至ってはサア笑

汝、奇をてらうこと勿れ!

お笑い芸人は話題になり目立つのが仕事だから、どうしても過剰な表現をしなければならぬのはしかたないが、心にもないことや奇をてらうのはおやめいただきたい。吾輩が嘆くと我が友も「同感だ。自分も過剰な笑いには辟易している。女言葉を多用したり女装する男のタレントには不愉快。それを手を叩いて喜ぶ若い女性参観者も不愉快。何故、女装タレントが跋

扈するのにその逆がないのか。社会問題だ。嫌いなタレントは×××、×××」と挙げて、「彼らが出てくる番組は決して見ません」と同意した。堅苦しい、正統派ばかりの番組にしたらというつもりは毛頭ないが、お笑いトーク番組が主流になりニュースや社会性のある番組が減りドキュメンタリーはほぼ消えた。我が妻は地上波はつまらないとBSにチャンネルを合わす。徳川家康の家訓ではないが、「国民は寄らしむべし、知らしむべからず」が政権にとつて都合が良いからか。お笑い番組で興じてくれて社会の問題や矛盾には関心を向けず、政府に任せてくれるのが良いわけだ。そりゃそうだ政治や経済が面白いわけではない。

お笑い芸人、タレント諸君! 壇蜜嬢の如く色気に始まり宗教から社会性、教養まで多彩な能力で勝負せよ。せめて私の大嫌いなマッコデラックスなる桃色ピンクに身を包んで女装したおのこ——誰もが話がうまい、頭が良いと言う——くらいの才能を持って! もっとも私は彼女が現れた瞬間モコンに手を伸ばすが。

エタレント名

北野武志

松本人志

出川哲朗



戦争の歴史を 学ぶ大切さ

信州のロザリアン

私はまだ若かった1983年に、初めての海外旅行で訪れたのは中国北京と内モンゴル自治区フホトでした。ソ連との国境に近いフホトでは鉄道や空港での写真撮影は厳禁で、兵士がライフルを装備していた時代でした。

写真が趣味の私は、首から2台のカメラを下げていたの、報道関係と勘違いされたようで、老女は『さくら、さくら...』を歌い、老人は地面

に小枝で『あいうえお、かきくけこ...』と書きながら、『リーベン、リーベン、日本人』と連呼するので、高齢の中国人添乗員に通訳していたとき、日本兵がここまで来てどれだけひどい行為をしたか、訴えていると言われました。私は加害と被害の事実で動揺して、写真を撮りませんでした。

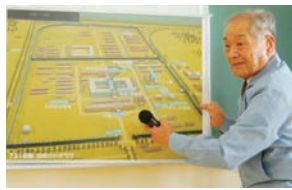
日清/日露戦争でかろうじて勝利した日本は満州を手に入れ、太平洋戦争では国策として全国で27万人も中国大陸



少年兵の時の心の傷を語る

東北部(旧満州)へ入植させて、長野県出身者は3万3千人で全体の1割強でした。信州は『神州』と称され、各地の集落ごとに移民の割当をして満州分村として大陸へと送り出した、辛く悲しい体験や

多大な犠牲がありました。1995年にテレビ放映された山崎豊子さん原作の『大地の子』は、その戦争の歴史を私たちに伝えてくれた素晴らしい作品でした。信州では、8月の敗戦の時期には各地で平和活動として戦争の歴史を振り返り、未来の子供たちに伝える『戦争体験者の語る会』が開催されます。



731部隊の施設図

いう野辺山在住の女性の話や、教師に推薦され、従事する内容も知らされずにハルピンに見習い技術員として14歳で大陸へ渡った男性の配属先は悪名高き細菌部隊731。3ヶ月間の単純雑役をさせられた生々しい体験談も聞きました。マルタと呼ばれるスパイや抗日運動で捕虜にした人を、ペスト細菌に感染させて死に至る経過や、生体実験で

て一家6人で満州に入植。帰国できたのは父親と自分だけだったと

のホルマリン漬けの標本作りなど、人間の生きる限界を体験して命を奪う残酷極まりない内容は、森村誠一さんの本『悪魔の飽食』で知ることが出来ます。

この男性の方は安倍政権に対して、「戦争の歴史認識は侵略かどうか解釈の問題」という発言や、「宮城県航空自衛隊基地で731という番号の訓練機に試乗して、親指を立て微笑を浮かべて記者に写真撮らせた」行為に怒りを感じたと、発言されました。

2人の体験者は「人間が人間で無くなるのが戦争だ」と、悲惨な現実は『現地に行って体験しなければ絶対にわからないことだ』と、切々と訴えてらっしゃいました。

国家予算は 国民の幸福に使うべき

安倍政権は、沖縄に基地は要らないという民意を無視して、美しい辺野古の海に既成事実を作り諦めさせる為に、大量の土砂を投入し始めました。

過去の累積したアメリカへの兵器代金の支払いが滞るな

か、国家予算101兆円のうち毎年5兆円以上を軍備費に充て、欠陥のオスプレイを各地に配備し、F35ステルス戦闘機(1機150億円)の105機購入を決めました。護衛艦の「いずも」と「かが」を、ステルス戦闘機の高熱発射に耐えられるように甲板の鉄板を厚くして空母化するということとは、アメリカと共に戦争が出来る体制を整えることなのです。

昨年9月の国連の場で、マレーシアのマハティール首相が日本の改憲の動きに対して『改憲は平和を促すのではなく、問題解決のために戦争を使う他国に加わることになる』と指摘して、9条を『日本が戦争することを許さない憲法』と評価し、平和憲法の支持を表明されました。

改憲で戦争ができる日本になれば、一番犠牲になるのは若者なのに、安倍政権を一番支えているのは若者たち。日本はどうしてここまでひどくなったのでしょうか!?

でも、タレントのローラさんが辺野古基地反対の表明をしてくれて、ステキです!!

西肥バスの運転手さん

過日、長崎空港に降り、ハ
ウステンボス行きのバスに
乗った。

乗せる係のおじいさんが
甲斐甲斐しく「並んでくださ

いよ、横入りはダメですよ。
詰めてやってくださいよ。お
ばあちゃん、足元よく見て。
気をつけて」と、気を遣って
くれ、おじいさんの気配りに

思わず笑顔になった。
バスに乗り込んで、また癒
された。
運転手さんが「西肥バスを
ご利用下さってありがとうございます。
ございます」と立ってこちらを
向き、まずは運転手の帽子を
とって深々と丁寧にお礼を言
われた。
行き先と到着時刻を丁寧に
言い、「安全運転に気をつけ



幸せ行きバス停 (中田恭子作)

ていますが? やむなく急ブ
レーキをかける場合にはご容
赦ください」とゆっくりあつ
たかい口調で、とても低姿勢
で言い、こちらが恐縮するほ
どだ。

忙しい都会では許されない
ほど、ゆっくりまったりの優
しい口調に、まるで真綿に包
まれた気がした。

お客と運転手ではなく、里
帰りを楽しみに待って迎えに
来た自分の身内のような優し
さがあった。

カーブにきた。「左に曲が
ります。右安全確認ヨシ。揺
れますよ、ご注意ください」
と言う。

降りる人には「長いご乗
車、お疲れ様でしたね」
子供たちには「楽しんで
ね」と言う。

子供たちもついで、身内のお
じさんと間違えてしまうほど
あったかく、運転手さんにハ
イタッチなんかして降りてい
く。

「具合が悪くなったり、ト
イレに行きたくなったら知ら
せてください。止まりますか
らね」とも言われた。

私が恐る恐る行き先の葉書
を見せ、ここに行きたいので

すが、と言うと、「どこどこ
で下車して女の人の足で10分
ですが、タクシーでワンメー
ターです」とこれも神対応。
安心して他の人も道を尋ねに
見えた。

「この横断歩道を渡って右
にワンブロックのホテル前か
ら、そちら行きのバスが出て
いますから、ここで降りた方
が近いですよ」と。運転手さ
んの心の余裕が優しさになり
私たちを包んでくれ、私たち
の心まで感謝に満ちた。

何か大切なものを教えられ
た気分になった。「人とは」
「生きる」と。

2時間のバスとがっかりし
ていたが、運転手さんの皆さ
んへの気配りにうっとりし
て、あつという間の楽しいバ
ス乗りになった。

「ありがとうございます」
と私は深々と頭を下げた。降
りた。

佐世保の西肥バスの運転手
さんの名前は「橋本輝典」さ
んと書いてあった。

横浜市

(画柳会代表) 中田恭子

世界の離婚事情

直近周りの人が結婚する機会が多く、結婚と恋愛の違いについて考えるようになりました。と同時に、一人一人の結婚は、本当に正解なのだろうかとも考えるようになりました。そのきっかけの一つが友達の離婚です。幸い子どもは生まれていなかったのですが、なぜ人は一緒になるのに別れてしまうのか。そこには恋愛と結婚の概念の違いがあるのではないかと考えました。

そもそも恋愛とは、お互いが楽しめればそれでいい。2人だけで完結するものであるのに対して、結婚とはお互いの人生だけでなく、それぞれの家族を巻き込むものになります。恋愛で必要なものは、ときめき、刺激、快楽などがあります。結婚は信頼、安心などだと思います。この違いを理解できずに結婚をしてしまうと、やはりこの相手ではなかったと、離婚してしまいます。厚生労働省が平成27年度に発表した人口動態統計によると、1000人に1・77人が離婚したという

結果がわかっています。全世界ランキングだと、36位に位置します。

まず、主要国で1位のロシアですが、主な離婚原因は度重なる社会情勢の変化によるものです。急激な民主化により、自分で就職先を探さなければならぬ状況に、特に男

日本の離婚事情について

千葉県 大山 桜



例えば、ニューヨークのような高収入世帯が多いエリアでは、離婚率は低く、貧困層が多いエリアでは離婚率が高いという状況なのです。ただ、離婚する決心をしても、なかなか手続きが進まないのがアメリカの特徴。離婚が成立しても、子供の親権などのトラ

すい世の中にはまだまだなれないのは現実です。幸せになるために結婚をしたのに、上手くいかずに別れて子どもも巻き込んで…その負の連鎖を断つためには、「結婚」と「恋愛」の違いを理解して結婚すること。好きだから、結婚する。ではなく、今

の彼氏が本当に自分の将来を預けるに値するの。自分と自分の家族についてきちんと理解をし、支えてくれる存在なのか。今の日本では社会問題として親が離婚した子どもをケアする場所がなく、子どもは一人寂しい思いを抱えていきたくとも往々にしてあります。そのことを理解して自分の未来についてしっかりと考えて決断する若者が増えてくれることを願います。

結婚生活のライフスタイルの変化

それと現代ではまだまだ女性の方が結婚による生活の変化が大きいのは皆さんの感じ

ているとおりですが、日本では姓が変わることも大きいです。男性の親との同居による変化はあまりないが、姓が変わる心理的な変化も承知しておかねばいけません。尤も、職場などでは旧姓をそのままの場合もありますし、夫婦別姓意見もでていますが今後どうなるでしょうか。法律では結婚する両性の合意によって婚姻が成立し、その姓はどちらを名乗っても良いのです。

結婚は現実生活です。家計や出産・育児・教育も伴いますのでここで意見が分かれて離婚の原因になることもあるので結婚前になる程度相手の気持ちを理解しておく必要があるでしょう。相手方の家に気を使う割合は減りましたが共働きによる負担が増えていくから家事負担による軋轢も離婚原因になるからこの点は充分話し合っておくべきです。男性の協力を得られなかったら経済力を身につけた、仕事に生きがいを感じる女性は離婚に走りがちになります。離婚イコール悪とは言えませんが、互いの行き違とか意思疎通による離婚はさけないものです。

安倍晋三首相よ、

外交成果は有りや無しや？

東京都江東区 三田 栄考

米国とはどうか？

安倍氏と一部マスメディアは外交に成果があがっていると強調するが、事実は全く逆だ。7年間も何をしてきたのかと聞きたい。ゴルフをして親しさをアピールしているだけだ。仲良しの相手に譲る——商売でも外交交渉でもそんな甘いものではない。仲が良ければならトランプの国際機関からの脱退による無秩序を制止しなさいよ。それどころか悪影響を受けて日本が国際秩序を破壊するトランプ氏に習ってIWC（国際捕鯨委員会）を脱退するのは愚の骨頂だ。自ら国際社会で正当性を放棄したに等しい。二国間協議に持ち込まれ自動車等の関税引き上げると脅かされている始末。それどころかアメリカ製品を買わず政策に協力させら

れてドンドン米国産の兵器を買わされる。1機150億円の米国製新鋭戦闘機F35を147機を始めとして史上最高額の軍事費の予算を組んでいる。兵器がどう平和に役立つというのか。西欧諸国首脳は身勝手な彼を批判し国際社会の秩序に戻るよう説得しているからだ。親友というならイスラエルへの大使館移転を止めさせたらどうか。対米交渉危険のみ増大。

対ロシア外交

それこそプーチン大統領とは何回会談していることか？首相の地元の山口に招いた会談はマスコミは「北方領土返還に進展」まちがいない——のムードだったではないか！昨年「今、思いついた無条件で年内に平和条約」と言われて返す言葉も無かった。

経済協力を打ち上げるけど見返りは何もない。クリミヤ半島侵略にも西欧とロシアの橋渡しどころか、一言半句の抗議もできない。二島返還論とか日本側は勝手に色々言ってるが、実質的には一歩どころか半歩も進展していない。経済、人的協調も何か進展があったと言えるか？暮れには首相自らが「北方領土に日本人が住んでないから交渉は難しい」等と逃げの弁解を始めた。そんなの誰でも初めから知っていることだ。1月の会談でまたマスコミは期待を書きたてたがそれは日本サイドの思い込みのみで、ロシア側の情報に基づいていない。北方領土成果解散説、この扇動も当分は消えた。対ロシア成果なし。

対韓国・中国外交

最悪の状態と評する人もいる。それは首相の歴史認識の誤りをはじめ好戦的・右翼的体質が近隣国を必要以上に刺激し、目には目をと彼らの反感、警戒を呼んでいるからだ。慰安婦、徴用工問題もこれまでの政権ではこんな反発

を招いていない。伊藤博文を暗殺した安重根記念館がハルピンにできたのは安倍政権の2014年である。南京大虐殺記念館も近年はより大々的に取り上げられ習近平主席も参加するようになったのは安倍首相に対する反発からである。昨年12月の韓国駆逐艦が自衛隊機に火器管制レーダーを向けた事件も安倍首相が映像の公開を指示したから泥沼のなすり合いになった。韓国が敵意を真に敵意を真に向けてきたはずがないのに騒ぐのは余計に韓国民に反日機運を煽るだけで何のメリットもない。安部政権は韓国・中国との外交を進展させたことは全くない。対韓関係は戦後最悪。

対北朝鮮外交は？ 拉致問題は？

これも一歩も進んでいない。昨年初めまでは「圧力」しか言わないで、「話合いの為の話合いは意味が無い」と平和外交を放棄していた。然るに米朝会談が設定されると「米大統領に拉致を頼む」と人頼み。会談が実現するとその尻馬に乗って「あらゆる機

会を掴まえて交渉」と言い出したが、敵視政策を続けてきたのを見透かされて北からは相手にされず、いまだ表に出る成果はゼロ。青いバジで一方的に北を糾弾する前に、北から慰安婦や徴用工の賠償を求められたらどうするか検討すべきだ。日本は戦前の植民地化した北朝鮮には何の償いもしていない。韓国よりも厳しい要求は覚悟しないとイケない。「私の総理の間に進展させる」と語ったのは誰だったか？対北外交はトランプの尻馬にさえ乗れず。

(1月28日投稿)



北方4島

違いを豊かさにする

共生社会は、

憲法にうたわれている

朝鮮高級学校無償化を求める
連絡会・大阪事務局長 長崎由美子

大阪市生野区は日本で最も多くの在日コリアンと60ヶ国の人々が暮らす街である。現在は朝鮮高級学校無償化を求める連絡会・大阪の事務局長をしている。朝鮮学校は20



火曜日行動で街頭デモ

10年にできた高校無償化から排除され、大阪府大阪市からの補助金が2012年から打ち切られ、もう7年を迎えようとしている。私が朝鮮学校を支援する原点は生野区の保育士時代にある。在日の在園率70%の保育園で民族保育に取り組む中で、韓国朝鮮の言葉や文化を知り、民族の誇りを持つことが人間性を育てることだと実感した。本名を名乗る保育士に「先生も韓国人なん。私も朝鮮人やで」と嬉しそうに話す在日の園児の輝きを忘れられない。私の息子は、差別から使用する友人の通名を2つも名前があつてかつこいいとあこがれ、息子自身も「リヨンホ」と通名を

名乗っていた。息子を見て日本人にとつても幼い時から民族国籍の違いを認め合い育つことは、豊かな人間性を育むと確信した。

憲法には全ての人が人種門地などによる差別を受けない基本的な人権がうたわれている



学生と一緒に火曜日行動

る。この憲法が守られるかぎり、在日の人々への差別は許されないはずだ。しかし朝鮮学校への差別は行政の差別を司法が後押しする最悪の形で安倍政権の下進められている。高校無償化排除を違法として大阪朝鮮学園が起こした訴訟に、昨年7月28日に大阪地裁は全面的に朝鮮学園の訴えを認めた勝訴を下した。高校無償化制度の趣旨である全てのこどもに教育の機会均等

から、朝鮮学校のみを外すことは違法であり、文科大臣の教育への不当な支配は認められない、過去の植民地支配からの朝鮮学校の歴史を踏まえ、民族教育を認めた。歓喜に沸いた法廷と抱き合う支援者の姿が忘れられない。しかしこの後の司法は権力に忖度するヘイト判決を下している。9月27日には大阪高裁で地裁判決を棄却する敗訴判決が下され、東京高裁でも敗訴判決が下る。こどもの学ぶ権利からの排除や、民族差別、国の不当な教育支配には何一つ触れず、ただ朝鮮総連との不当な関係のみで、排除を正当化した判決だった。

朝鮮学校差別はいけない

大阪勝訴判決集会で朝鮮学校女生徒が「初めて日本社会で生きていいと認められた気がする。私はすべての人が差別されず手をつなぐ社会を夢見る」と語ったがその彼女が高裁敗訴法廷で、悲しみと悔しさに肩を落とす姿に胸がえぐられるような思いがした。個人が行うヘイトスピーチには最高裁でも「在日特権を許さない会」(存在しない在

日の特権があるとデマやヘイトスピーチを行う団体)への断罪がされたのに、なぜ行政が行う官製ヘイトには断罪がされないのか。大阪府でヘイトスピーチ条例が作られたが、そもそも橋下知事、橋下市長が朝鮮学校補助金打ち切りを作った張本人である。吉村市長は拉致問題啓発チラシを公立の全ての小中学校で強制配布させた。なぜ拉致問題が起きたのかその解決は対話でしかないのに、北朝鮮への憎しみをかきたてるチラシを在日の子どもたちも多い大阪で配布し、その結果朝鮮学校のこどもたちへの暴言暴力が続発している。

しかし私たちの7年を迎える大阪府庁前での火曜日行動は324回を越えて続いている。参加者は朝鮮学校保護者、沖繩、原発問題、障がい者支援、キリスト者など様々である。韓国からも多くの支援を頂いている。朝鮮学校差別は日本社会を映す鏡であり、憲法が暮らしに活かされているかの試金石でもあると思う。ぜひ憲法を愛する皆さん、朝鮮学校差別に声を上げて下さい。

聴こえない声を聴く 新しい挑戦

東京 豊島区 丸山 牧夫



私たちは多くの音を聴いていない。何を聴きたいのか選ぶのは専ら脳だ。地震があった後、その体験を確認すると、或る者は大きな音がしたと話し、或る者はその揺れに気づかなかつたと言う。同じ場所においても多くの違う印象が生まれてくる。私たちの脳は自分にとって意味あるものを得るようにプログラムしている。その人にとって意味のあるものだけが感覚器官を通して脳に送られ、その世界観、生活観の基礎となっていく。従って、地震のガタガタという音も人によって違う印象となる。

詩人は「目に見えないものを見、耳に聴こえない声を聴く」とされる。時に人は詩人となる。多くの人に不思議な体験についてのアンケートを取ると、突然先祖の姿を手に見たとか、経営上、進退

極まったときに考えられない莫大な量の契約がやってきたとか、挙げればきりが無いほどの実例があがってくる。しかし、これらの経験についての統一的研究が進んだということを知らない。多くの人は感覚を鋭くすることで常識から外れた力が発揮されることを知っている。けれども、それを通常の生活に役立てようと思う人は少ない。それよりもテクノロジに頼る方が早いことを知っているからだ。

人は直観に頼るよりもグーグル地図を頼る。

ITが進むことによる無人化について話そう。灯台守の歌がある。寄せる荒波に灯台守はやさしい心で見守っているという内容だ。無人化は進み、13年前、灯台守という職業はなくなった。しかし、各分野でこの無人化が進んでいくのだろうか。ボブディランの「時代は変わる」ではないが、今遅いものでも将来速くなることもあり、今流行しているものもそのうち古くなると考えている。「植物と話す」と言うのが奇異に感じる人もある。しかし、有人化として残る一つとして他の生命と

の触れあいがある。話す、聴く、接する、見守る、泣く、笑う、怒る、諸作業の対象が人間から外に広がるとき、新しい人間の生活が拓けていく。



植物と話す人は多くいる

理学博士、故橋本健氏は50年以上前、植物が会話することを知って研究した。その後、その研究は途絶えていく。私は研究者ではない。勝手に多くの植物と会話している。その記録を本にした。『千年を聴く言葉 ボイス②』だ。



多くの植物がそれぞれ特有の表現をしている。聴くだけで楽しい。ぜひ読んで感じてほしい。きっと植物と話す人が増えていくだろう。今、植

物と話をすることを期待している人が多くいる。植物を育てる人の多くは愛情をこめるとよく花が咲くことや成長を支えるのは植物を意識し交流することだと知っている。ちよつとした会話をする人も多くいる。一旦、スマホやIT機器を脇に置いて耳を澄ましてみよう。太古から流れてくる先人の声や声にならない宇宙の響きが聴こえてくるだろう。聴こえない声を聴くことで新しく開かれた社会になつていくに違いない。

編集部より

何か異次元の話と思われるかも知れないが、筆者は三十代から目に見えない存在の声を聴くようになり、文章を書き始める。現在は見えないう存在「ボイス」との交信のほか、亡くなった人、木や花など植物との会話を通して、意識の世界の大切さを広めるための活動をしている。興味のある方は『千年を聴く言葉 ボイス②』（三楽舎刊1200円＋税）をお読みください。お問い合わせはタウン誌LIFE CROSS SINGまで。



ハッケヨイヤ、ノコッタ。巨漢力士では土俵が狭いと勝負が早くついて面白くないよ。

一生に一度は大相撲なるものを見ておこう

東京 上野 原野 通有

そこそこの歳になるまで国技館に行ったことがなかった。行くなら砂かぶりの柵席をとって、友人・知己



1敗で白鵬を追走していた千代の国、気の毒にやっとな車椅子で退場。休場。

を辿ってやっとな初場所10日目の1月22日の非売品券を手に入れ出かけてみた。向う正面5列目の端、NHKカメラの餌食席だった。おまけに花道を肩に砂をつけて引揚げる相撲取りに「お疲れさん」と手を伸ばせば触れられる。右を振り向けば奥に出番を待つ力士がウォーミングアップならぬ気持ちを整え思い思いの動作を繰り返して、「ヨシ！」の掛け声で土俵際へ向かう。男も顔で人氣が左右する。遠藤！とかイキオイ！とかの声がかかるのは皆、美形ばかり。土俵はテレビでみるよりも小さく狭くみえる。四股を踏んだり、仕切ったりすると行司に当らなければなりだ。力士の平均が160キロ超えと大型化しているから、土俵を広く

したらとの説もあるとか。広くなれば押し相撲よりも技で倒す相撲が増えるかもしれないから賛成だ。

相撲ほど短時間で決着するスポーツはない。それこそ一瞬で決まる場合も。それ故に短い取組みに力士は如何に精神を集中させるかが勝負で迫力がある。瞬時に全てをかける激しい格闘技、相撲取りも大変だな。互いの息を合わせの立ち合いが肝心だから間合いは真剣だ。せめてもう少しハッキリ両こぶしを付けなと待ったにするとかしら。

大相撲の将来を憂う

この日の相撲は面白くなかった。唯一人、日本人横綱稀勢里は四連敗で早々に引退、横綱鶴竜も大関栃の心も途中休場、いずれも怪我が原因だ。白鵬一人が全勝なら優勝は決まりと誰もが思った。然るに彼は翌日から三連敗。同じ負けるなら吾輩の目の前で負けて座布団が飛ぶのを見たかったのに。千秋楽に玉鷲なる平幕力士が勝って2敗で34歳2ヶ月の初優勝は史上2番目の遅咲きだそう。しか

もその朝2人目の男の子が生まれたそう。初土俵から15年一度も休場しない皆勤を続けている。幕内から十両に5回も陥落して這い上がってきた苦勞人。大した男と思いきやこれまたモンゴル出身。先場所初優勝の若屋出身の貴景勝も楽日に完敗の四敗で、大関は遠のいた。幕内で9人の外国出身者、上位に日本人は半数もないようでは国技が泣くというものだ。

大学の相撲部が無くなるのを防ぐというストーリーの映画ができるほど若者の間で希望者が減っているのも仕方ない。豊かになった日本はハングリー精神が乏しく、古いしきたりの相撲界は人氣がない。お尻丸出しのカッコの悪さ。無理矢理不自然に体重を増やしたりするから親方達は若死にする。大鵬、北の湖、千代の富士、輪島も今は亡

い。80代まで生きた親方が少ないのも入門希望者を減らしているだろう。怪我也多すぎること。高い土俵から転がり落ちたら、ましてや巨漢力士の体重と勢いが加算されると怪我は当然だ。



西方幕内力士の土俵入り、ブルガリア出身の碧山、色気のない体型なこと

この日も1敗の千代の国が土俵下へ重なりあつて落ちた。立ち上がれないのを見て館内は凍った。動けないままやっとな頑丈な車椅子に座らされて花道を痛々しく運ばれたのを咄嗟に写したのが掲載写真だ。この日は更にもう一人抱えられて退場した。土俵下にクッションを広げるとかもう少し怪我をしない工夫が必要ではないか？休場力士が多いのは看板に偽りありでファンにも失礼だ。変人だが我々を感動させてくれた貴乃花も相撲改革を唱えるならこれらの問題を提起して欲しかった。立ち合いからがっぷり四つに組みあい、力の駆け引きで土俵際まで追いつめあう、そんな見どころのある濃い勝負が少なくなった。

藤沢周平(中)

—史実と想像力の狭間—

鎌倉市 市川 隼

ぎなかつたが、長塚節を描いた『白き瓶』が1986年の吉川英治文学賞、新井白石を描いた『市塵』が1989年の芸術選奨文部大臣賞を受賞し、更に、作家活動全体の評価を受けて受賞したのが、1989年の菊池寛賞であり、1994年の朝日賞だった。その後、東京都文化賞や山形

藤沢周平は、当初暗い小説を書き続け、賞など無縁な小説ばかり書いていると自嘲していたようだが、小説の向う側に読者がいる事に気が付き始めて、自分の小説が明るくなったと洩らしている。陽が余り射さない町人や下級武士の世界に、常に優しい眼を向ける周平世界は、日々の創作活動の中で、読者や編集者から示された批評を通して得た手応えが、築き上げさせたと云えるようだ。多くの読者に支持されている時代小説では、デビュー作の『暗殺の年輪』が直木賞を受賞したに過



新井白石終焉の地(新宿御苑千駄ヶ谷門傍)

県民栄誉賞を受賞する等、周平の作品に相応しい受賞に繋がった。

周平が羽搏き始めた時、編集者から、鷗外の毒と、周五郎の毒という言葉教えられたとの事だ。歴史小説と時代小説の夫々の大家から距離を置き、周平の独自の世界を築かなければ、一人前の小説家と評価されないとの、編集者からの激励の言葉だった。周平が二人の小説家の毒をどの様に料理したかは定かではないが、二人を意識しながら、

時代小説も、歴史小説も描き、周平の独自の世界を築き上げた。歴史的な背景を踏まえて、創造(フィクション)された人々の人間模様を描くのが「時代小説」であり、歴史上の人物に、作家の想像力交えて、人物の人間模様を描くのが「歴史小説」とも言われる。周平は両者の垣根を然程意識してはなかったようだが、「史実」と「想像力」の関りには、拘りを持ち続けた。周平は、『歴史のわからなさ』(産経1973年8月6日)で、「(時代物を書かせるのは)、過ぎ去ったもののわからなさ」にあり、**

* (史実の) 多くは闇に包まれ、ほの白く光る歴史の膨大な量に突き当たると時、創作意欲が動く」と記し、『史実と想像力』(赤旗1974年8月4日)では、「***想像力が関与しない小説があり得るか、という疑問である。***無限に想像を削り落とし、解っている事実だけを書くとしたら、それは歴史そのものではあっても、歴史小説とは呼べないのではなからうか」と述べている。

『市塵』で描いた新井白石

周平は先に記した『市塵』で新井白石を描き、側用人間部詮房(あきふさ)との関係を基軸に据え、徳川家宣(いえのぶ・綱豊)が綱吉の養子となり、家宣の將軍就任から逝去、更に、幼子家継(いえつぐ)の將軍就任・逝去を経て、吉宗が將軍に就任する、1704年から1716年の、ほぼ12年間の徳川治世を描いた。將軍交替に纏わる軋轢、幕府上層部の動向、宝永の富士の噴火、シドッチ尋問、朝鮮通信使待遇改革、貨幣改鑄、絵島事件等が書き込まれ、並々ならぬ歴史小説の

書き手である事も示した。白石は房総久留里出身で、『読史(とくし) 余論』や『折りたく柴の記』を現在に残しているが、福沢諭吉に『文明論乃概略』で、「概して云えば、日本国の歴史はなくて日本の政府の歴史あるのみ。学者の不注意にして国の一大欠典と云うべし」として、政府の転変のみを記述し、一般庶民の歴史に触れてこなかったことを批判されたが、当時としては、木下順庵の弟子として当代一流の儒者であり、將軍家宣の信任が厚く、政治に学者が関与する先駆的な存在でもあった。白石は浪人しながら、順庵の推挙で甲府藩への仕官が叶えられ、学問好きの藩主に遇され、藩主共々幕政に就く事になるが、家宣・家継の二代將軍の逝去による將軍吉宗の就任により、退官を余儀なくされる。市塵から出て市塵に戻る白石に与えられたのが、内藤新宿の外れの麦畑だった。周平は、史実に想像力を働かせて描いた『市塵』で、自らと同じように浪人の身から這い上がった白石に、優しい眼差しを注ぎ続けた。

忠臣蔵 遅れてきた武士道

名君吉良の悲劇

東京都 阿部 敏夫

吉良上野介は名君である。

定説、通説、俗説、どれに照らしてみても被害者側が、かくも貶められ抜群の才能を否定されることに私は寛大ではいられない。

今に置きかえて事件の経過をたどってみれば、すぐ解ることである。自分の会社の社長が車乗り入れ禁止の道路で交通事故を起こし相手に怪我を負わせたとする。幹部社員が役員が早速被害者を見舞う。ところが現実には厳しく道路交通法違反にとどまらず殺人罪なみの厳罰で極刑となる。事件は単純な事実で終るべきだったのだ。でもそうはならなかった。日本人の好きな武士道と忠義をからませてしまったからである。事実を探れば、どう考えても吉良に有

利である。

私の視方はこうだ。うつ病の発作が出た浅野内巧頭長矩が吉良上野介義央に江戸城中で後ろから刃傷に及んだ。今から三百有余年前、元禄14年（1701）3月14日のことである。浅野に殺意があったとすれば、小さき刀で面上から切りつけるのではなく、背後から刺すべきだったのだ。これが武士としての胆力に疑問が付く一つである。では何故この事件は起きたのか。浅野が幕府から勅使饗応役を受けたのは2度目、初回は17歳の時である。今回は伊予宇和島藩の伊達左京の亮宗春（三万石）と一緒に2度目の経験である。指導員は今度も高家筆頭の吉良上野介（四千二百石）。指導員の仕事

は大過なくその仕事をこなすことである。2度目の浅野に對し以前の時にも教えたではないか！程度の叱咤はあったかも知れない。コーチの失敗は自分の職務にひびくことでもある。浅野の行動には独自の判断で特有の思い込みがあったとしか考えられない。

赤穂浪士はテロ集団だ

被害者がまだ死んでいないと報復のため予告もなく寝込みを襲うなど武士道でも何でもない。大石内蔵助は確信犯である。そしてなおテロリスト集団の首領なのだ。評価は時代によって変わる。切腹を覚悟の行動計画は綿密である。鎖かたびらで完全武装し相手の寝ているところを襲



吉良の首は泉岳寺で吉良家に返された。当主の義周は当夜怪我を負い気絶、後日お家は改易その後血筋は絶えた。墓は今も華蔵寺にある

う。武士らしく正々堂々と立合えの合図もなしにである。これが赤穂の武士道なのだろうか。



赤穂浪士が討ち入り後両国橋を渡るのを阻止されたので南下して泉岳寺をめざしたが永代橋の東たもとの味噌屋で一堂が休み甘酒粥を振舞われた。近くの立派な記念碑。往時の橋は今より100mほど上手にあった

第一に吉良に殺害されなければならぬほどの犯罪があったのだろうか。

指導員吉良が畳三百畳の張替え以下、意地悪をした。ワイロを要求した。赤穂塩の製法を教えると迫った。いづれも俗説にすぎず事件の後の造り話だ。幾らか誤解され易いのは2番目のワイロ要求説だ。この道第一人者の吉良が謝礼を受取ることは多かった。当時の教授に対する返礼なのだ。要するに何がなんでも吉良を悪者にしたかったのだ。最近のネットでの反応に似ている。多分、世論が動いたのだろう。

五代将軍徳川綱吉は頭脳明晰である。しかし「生類憐愍令」によって中野で10万匹の野犬を飼っていた。江戸の人口が100万人の頃である。庶民は政治に不満でもあつ

た。何か胸のスカツとすることもおきないか。この是非ではなくなった。

兵庫県赤穂に行けば現在でも忠臣蔵の人氣は圧倒的である。愛知県吉良の地元も吉良の名君ぶりは今に伝えられて疑問をはさむ余地がない。一瞬の溜飲を下げて勤務先を失った赤穂を誉めるべきか、吉良の実子、綱憲が養子に入り十五万石を支えた名門、上杉米沢藩の江戸家老、色部又四郎は沈着冷静だった。討ち入りの報で参戦にはやる藩主をとどめたのだ。若手の失敗は何処にもある。平成11年の大河ドラマ「元禄繚乱」では上杉の江戸家老は千坂兵部としていた。しかし調べではすでに交替していたのだ。名家老として著名で当時天下の七賢人の一人といわれた千坂の名声を脚本家も欲しかったのだろう。

実は忠臣蔵、私も大好きなのだ。それでも史実と伝聞は全く違う。戊辰戦争150年における会津藩の悲劇と共通する無念さを吉良にも感ずるのだ。歴史のすきまから正確に評価して欲しいと吉良の吐息が聞こえる。

時間を遡行できないならばせめてこの脚で/ 岩名雅記のCm ジャニー30

舞踏と「理解」

いわな まさき/舞踏家、映画監督(フランス/南ノルマンディ在住)

県知事が
執務する
庁舎だそ
うです。
日本で
は歴史的
建造物は
手厚く保



ドゥカーレ宮殿

長く踊っているたまには
こういう機会が訪れます。こ
れはイタリア・ジェノヴァに
あるドゥカーレ宮殿(Palazzo
Ducal)の大広間です。ドゥ
カーレ宮はイタリア各地にあ
るのですが大体14-16世紀
の歴史的建造物。今でいえば

存されていますが、往々にし
て普段の生活とは隔離されて
いてなかなかパフォーマンス
には提供してくれません。
ヨーロッパでは日常生活の中
に「歴史」が紛れ込んでくる
ところが凄いですね。
さて昨夜、ドゥカーレ宮で
の舞踏ソロ公演を無事に終え
ました。私の踊りはご覧のよ
うな出で立ちで(写真下)約
50分間舞台の手前から中央へ
ほぼ直線を後方へゆっくりと
にじり下がり、長々と立ち尽
くした後は床に横たわった状
態で微細な動きを見せ、再び
立ち上がったあとの後半は舞
台を所狭しと動き回り、最後
に中央に戻って立位の静止を
見せるというもの。
終わった後の印象はパリと
もローマとも東京とも違うお
客様の反応で、これが結構最
後まで自分の踊りの質感に跳
ね返ってきました。
パリ、ローマ、東京ですと
舞踏を見たい人が集まります
ね。しかしここジェノヴァは
違うのです。「舞踏とはなん
じやるかい？」が多数派なの
です。つまり舞踏はジェノ
ヴァの人々にとっては未知の
文化なのです。

僕のこれまでの体験からす
ると、踊りが始まって冒頭は
お客様の中に多少の混乱が
あっても、次第にそれが収
まってドンドン集中していく
のでそれが自分の踊りの深み
にもなるのです。
昨夜の場合は開始後、約3
分の1の人が集中できない。
それが変わっていくだろうと
思いながら踊っていましたが
最後までその違和感が続きま
した(とりあえず昨夜の僕の
踊りの出来不出来はポイと棚
に上げてしゃべっているの
ですが)。
終わった後、スタンディン
グ オベーションというので
しようか、初めての体験でし
たが大勢の人が立ち上がって
熱烈に拍手してくださいまし
たが、やはり200人のお客
様のうち3分の1の人は席を
立たない。結局これで昨夜の
舞踏会の印象がある程度客観
的になりました。



写真撮影: Chiara Tabaroni

2時間後、ローマから来た
友人たちとの会食で僕がその
話をしました。するとトス
カーナで劇場を持っていたM
氏がこう言いました「ジェノ
ヴァのお客さんは恐らく(自
分たちが普段見慣れている)
他の芝居や踊りのように入結
論Vを待っていたのですよ。
最後に結論が与えられれば皆
さん溜飲を下げて拍手喝采す
る。それがなければお客さん
は燻(くすぶ)ってしまう」
なるほど「結
論」かあ。しかし、
我々踊り手にとって
結論とはカラダもし
くはカラダの状態の
中に常に宿っている
苦のものなのですが
ねえ。今回の踊りに即して言
えば「立ち尽くす」というこ
とがある限界を超えると、日
常とは異なる感覚がお客様に
芽生えてくる。あるいは男性
が女装すればそこに「不思議
な性の二重性」が生まれる。
とは言ってもジェノヴァの
方々の考えていることがよ
ーくわかる。
バレエなんか一種の幾何学
(方向と角度を持った骸骨)
と考えれば分かりやすいな

のだけれどそこに悪魔だの妖
精だの白鳥なんかの寓話をか
ぶせて「理解」させちまう。
ホントは骸骨(骨格)の部分
に核心があるのだけれど――。
そこで思い出したのが花伝
書のこの一節だ。世阿弥曰く
「そもそも、能芸において名
声と人気を博することについ
ては、公演地の違いや観客の
身分の上下の違いなどである
いろいろな場合がある。演技上
な者が、鑑識眼のない観客の
気に入る事は難しい。下手な
役者が、鑑識眼の優れた観客
には問題にもされない。下手
な役者が目利きに気に入られ
ないのは、別に不思議なこと
ではない。上手が鑑識眼の無
い観客に気に入られない事、
これは、目利かずの観客の至
らなさの結果ではあるが、能
芸を極めた上手でもあり、し
かも芸の工夫があるような役
者であれば、そういう場合で
もまた、鑑識眼のない観客に
も『面白い』と見られるよう
に能を演じることができであ
ろう。https://oudokus.com/
Fushikaden/05.htmlより。
まだまだオレは修行が足り
ないな。
(2019年1月11日)

ふるさと言葉

東京江東区 森川澄子

「べえべえ、言葉がなかったら、ナベとツルベはどうするべえ」。子どものころ聞いた記憶がある。栃木弁をからかわれたことに反発し、それに対抗した遊び言葉が、言い継がれていたのではないかと推測する。



ふるさと・栃木の言葉は、最後に「——だんべえ」とか「——だんべなあ」をつける。正しいアクセントができない。それに語尾が尻上がりになる。このイントネーションが、世間では奇異に聞こえるらしい。

私が自分の言葉を気にするようになったのは、職場の研修で上京し、仲間に指摘され

てからだ。まだ恥ずかしさが先にたつ年齢だった。結婚し東京での生活も十年余が過ぎた頃、こんなこともあった。

足の手術で入院し、両親が見舞いに来た。歩けないので病室で面会をする。父は他人がいるというのに、方言丸出しで話しかけてきた。母もよそいきの言葉のつもりが、似たようなものだった。私は同室者に「ローカル放送をお届けしました」と笑って自分の羞恥心をごまかした。また、病棟で電話をかけていたときだ。順番待ちをしていた知らない男性に「おたく、東京じゃないでしょ。どちら」。一番気にしていることを聞かれた。環境が変わっても、身につけてしまった話し方はそう簡単には直らない。いまだに話すのは苦手である。

最近、あるインタビュアーに、栃木弁で答えている老人の声が流れた。「あつ、父」。錯覚だった。ふるさとの言葉に耳をふさいだ時期もあった。高齢になった今はふうつと「ふるさとの訛り懐かし」の心境になることがある。肩の力が、いつの間にか抜けたらしい。

Life Crossing

余録

日本男児奮闘記を本誌にたびたび寄稿いただいた在ドイツの後藤昌三氏がご自身の波乱に富んだ人生とドイツ文化

編集後記

今号もユニークな方にも寄稿していただきました。池田香代子さんは講演会などでご存知の方もおられるでしょう。ドイツ文学翻訳家と同時に9条の会の世話人の一員として活躍されておられる。なるほど、文字訳語から自民党政権に警鐘を鳴らした作品です。憲法と言えは護憲の立場から朝鮮半島との関係から人権問題を訴える長崎由美子氏は知る人ぞ知る大阪の革新運動の担い手。信州のロザリアンさんは目を戦前の中国・満

の紹介を書き上げて上梓しました。本誌LIFE CROSSINGも協賛し、本誌にお申し込みいただいた方には

手作り工夫の
ドイツ
進出
奮闘記

連絡事務所から独立子会社設立、その発展まで
食事、観光の体験的情報も満載

デュッセルドルフ ケーニヒスアレー

送料を当誌で負担させていただきますので是非手に取られんことをお勧めします。

1970年渡独、駐在買事務所立ち上げから独立、子会社起業まで、後藤昌三がつづる男のロマンです。後藤昌三著『手作り工夫のドイツ進出奮闘記』（税込み2500円）は2019年1月末、NET受注販売開始です。

州に移し日本人の誤り、反省を呼びかける。人類は生存を始めた時から戦争を体験し、今も戦火は続いている（全ての動物も同じ）。現代の戦争、それはテロであり内戦である。裏表紙の増山麗奈さんはシリアで4年間も囚われた安田純平戦場のカメラマンの語る会を明治大学で1月に主催し司会を務めた。若い人も多くが参加して生々しい体験に耳を傾けた。その現代の戦争の危機を説く三田栄考氏は安倍政権に軍事で恒久平和を築けない、平和外交によつてのみ核戦争、人類滅亡を避けられると説く。人間は闘う

動物でなく言葉によって理解し合う生き物だと説いたのが丸山牧夫氏。植物と会話すると語る丸山さんは草花に話しかけたら成育が良くなりますよと力説されます。我々凡人は変な気分になります。異境地になる氏の著書『千年を聴く言葉』を読まれることをLIFE CROSSING誌としてもお勧めします。その人間の機微を温かさをバス運転手の言動を以て説くのが中田恭子さんだ。彼女の描いたバス停の絵の何と微笑ましいことか。彼女を知る編集部としてはその人柄が表れているようで楽しい。

2018年最後に 飲んだまずい酒

東京都日野市 増山 麗奈

2018年最後の大ニュースは、人権派ジャーナリスト広河隆一さんが女性たちへ性暴力を日常的に振るっていたことでした。伊藤詩織さんが、安倍政権のお抱え記者山口敬之氏からのレイプを告発した日本の#metooの刃は、政権批判するリベラルの重鎮存在に突き刺さりました。広河隆一さんは私、増山麗奈監督デビュー作に出演しています。原発事故ドキュメンタリー映画「ママの約束」原発ゼロで見つけた本当の豊かさ」という作品です。千葉県松戸市で子どもたちが甲状腺エコー検査を受けるシーン。実際にチェルノブイリ事故を取材し健康への影響を懸念した広河隆一さんが市民運動を連携して、寄付を募り、実現したものです。「自分たちの活動により5000人

上の子どもたちが甲状腺エコー検査を受けることができた」と広河さんは証言した。沖縄への保養プロジェクトに



筆者作品

も取り組んでいた。広河さんは国家から矮小化されている原発事故の健康被害から数千人という子どもたちを具体的に救ってきた。全国のママの恩人のような人が、性暴力加

害者だった。週刊誌発売前日に夫とまずい酒を飲んだ。実にまずかった。情けないし、悔しいし、怒りがこみあげ。週刊誌で証言している女性性は7名。犠牲者の多くが、純粋な正義感を持ち雑誌「DAYS JAPAN」で働こうとした若い女性たちだ。大学3年生の被害者もいる。「カメラを教えてあげる」とホテルに誘い出し性行為を強要する、裸の写真を撮影する。

この事件がなければ、力を持った女性ジャーナリストがあと7人、世に出ていたかもしれない。鮮やかに権力の腐敗を暴くはずだった女性の心身を、広河氏は性欲をセーブ

できずポキンと折った。告発した勇氣に感謝

被害者の方の心の傷が癒え、再び表現の世界に戻ってきてほしい。

私も業界体質を変えます。私自身も21歳の時テレビ業界の幹部に強姦未遂された経験から這い上がるようにアートを続けてきました。通常の商業社会でも、メディア業界でも、芸術業界でも男性も、女性も、男尊女卑の感覚が骨の髄まで染みつき、身近な女性の人権を凌辱するケースをたくさん見てきました。それらの組織には共通点があります。バブル時代に知名度が出た人や商品に未だ依存し、新商品を育てないまま惰性で集客・販売を行っていることです。なんとなくの視聴率や支持率は稼げても、実は自身のアップデートがされていないので、徐々に時代遅れを隠せなくなっています。仕事で結果を出せないけれど、アゲアゲだった昭和時代のように自分たちの自己承認欲求を満たしたい人が、職場にいる弱者をモノのように扱うことで自分が偉いと再確認する。本来は企業努力をするべき時間を

現実逃避に充てている、負の連鎖です。

広河隆一さんの事件から学ぶことはたくさんあります。常に時代の風と新技術を取り入れること、経営努力を怠らないこと、誰かを神格化しないこと。過去のスターの集客力に頼らず、一人一人の発想や着眼点の鋭さ、技術力を磨くこと。曇りのない目で物事を分析すること。新しいメイクを取り入れること。

恐怖で縛るピラミッド型の組織ではなく、しなやかで尊重しあう人と人が横につながるネットワークをはぐくむこと。

広河さんには失望したけれど、増山麗奈、反戦反核の看板は下ろしません。誰かを犠牲にして成り立つ社会を変えていき、才能がしなやかに育つ場を作りたい。

雑誌、ラジオ、テレビ、芸術、メディアミックスで頑張ります。真実を伝え、笑顔の輪を広げ、一桁二桁三桁四桁多く、人々の命を実際に救うような生きたアクションを行うことを、年末年始の決意表明とさせていただきます。

(映画監督・画家)